

大村市上下水道事業中期経営計画  
(平成28年度～平成32年度)  
の進捗状況について (報告)

平成30年9月

大村市上下水道局

## 1 進捗状況の概要について

### (1) はじめに

大村市上下水道局は、利用者の皆様から信頼される公営企業としての責務を遂行し、安定的な経営を確保するため、平成 28 年度から平成 32 年度までを計画期間とする「大村市上下水道事業中期経営計画」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、健全な事業運営に努めています。

今回、平成 29 年度決算認定の上程に際し、改善項目の実施状況と決算値を比較することで中期経営計画の進捗状況を報告します。

### (2) 事業計画の実施状況

中期経営計画に掲げた事業計画については、一部に遅れが見られるものの概ね予定どおりに進捗しています。

#### I 水道事業

事業計画の進捗状況の一覧表を 4 ページに、詳細を 5 ページから 8 ページにかけて記載しています。

「①新規水源の開発」については、鬼橋第 2 水源の工事が完了し、水源余裕率の向上を図りました。

今回の事業計画で最も重要な「④管路の計画的更新」の実績は、19 路線、5.92 km、工事費 3 億 2,500 万円となり、計画どおり実施できました。

水道給水開始 90 周年に合わせて行った「⑩小水力発電設備の設置」では長崎県内の水道事業体で初めての取組となる小水力発電設備を坂口浄水場に設置しました。また「⑫旧武部配水池環境整備事業」では、水道事業の歴史的遺産物の保存と市民の憩いの場としての活用を目的として整備を実施しました。

「⑬簡易水道の統合による維持管理費の削減」では、簡易水道事業の水道事業への統合を実施し、職員を 1 名削減することにより経営の効率化を図りました。

#### II 下水道事業

事業計画の進捗状況の一覧表を 11 ページに、詳細を 12 ページから 14 ページにかけて記載しています。

「①未整備区域の下水道整備促進」については、新工業団地や宅地開発に合わせた未普及地域へ延長 2.1km、工事費 2 億 800 万（翌年度繰越工事含む。）の污水管整備を行いました。

「④設備の計画的更新」については、長寿命化計画に基づき、改築工事

が完了した大村ポンプ場に引き続き、東浦汚水中継ポンプ場の改築に着手しました。

「⑧高度処理施設の導入」については、基礎工事が完了し、現在水処理施設の建設を進めています。

### (3) 中期経営計画財政収支状況

#### I 水道事業 (P9)

収益的収支の給水収益が中期経営計画に比べ 2.2%増となりました。これは、簡易水道事業を水道事業に統合したことや、料金改定後も有収水量が中期経営計画に比べ 2.2%増加したことによるものです。

費用については、修繕費の減等により中期経営計画に比べ 3.7%減となりました。この結果、単年度純利益が中期経営計画に比べ 93.4%増の 3 億 4,915 万円となりました。

資本的収支における不足額は、中期経営計画に比べ 5.8%減となり、補填財源残高は 10 億 763 万円となりました。

また、企業債発行額については、財政計画に示した建設改良費の 5 割以内かつ元金償還金の 5 割以内に留め、企業債残高は平成 29 年度末で 115 億円となっています。

#### II 下水道事業 (P15)

収益的収支の収入については中期経営計画に比べ 1.3%の増となっています。これは大村ポンプ場の改築により長期前受金戻入が中期経営計画に比べ 7.3%増加したことによるものです。

費用については、修繕費や動力費の減等により中期経営計画に比べ 3.0%の減となりました。この結果、単年度純利益が中期経営計画に比べ 20.1%増の 7 億 63 万円となりました。

資本的収支における不足額は、中期経営計画に比べ 3.9%増となり、補填財源残高は中期経営計画に比べ 17.1%増の 19 億 2,156 万円となりました。

また、企業債残高については平成 29 年度末で 141 億円となっています。

# I 水道事業

水道事業中期経営計画 事業進捗状況

施策の方向性・重点施策・事業計画一覧

施策の方向性 (基本目標)	重点施策	事業計画	事業費(百万円) (5か年)	進捗状況				備考	
				H28	H29	H30	H31		H32
1 安定的な水源を確保し、安全でおいしい水を供給します。	1 水道水源の確保	①新種水源の開発	110	○	○				
		②少雨対策への取組	-	○	○				
2 水道水源の水質管理	1 計画的な施設更新	③水質検査機器の更新	23	○	○				
		④管路の計画的更新	1,529	○	○			◆拡充事業	
		⑤設備の計画的更新	1,006	○	○			◆拡充事業	
		⑥管路の耐震化	管路更新等を含む		○	○			◆拡充事業
		⑦施設の耐震化	25	-	-				★新規事業
3 環境に配慮した事業運営に努めます。	2 耐震化の推進	⑧上下水道局BCPの策定	-	△	△			★新規事業	
		⑨省電力機器の導入	-	△	○				
		⑩小水力発電設備の設置	119	○	◎			★新規事業	
4 適正な業務運営と維持管理に努めます。	1 適正な業務運営	⑪最適運営形態の検討	-	○	○				
		⑫収率率の向上	-	○	○				
	2 適正な維持管理	⑬水源の休止	△70	○	◎				★経費削減
		⑭地下水源の適正管理	△20	○	○				★経費削減
		⑮送水ポンプ所の廃止	△6	-	-				★経費削減
		⑯簡易水道の統合による維持管理費の削減	△82	-	○				★経費削減
		⑰漏水調査及び修繕の実施	237	○	○				
		⑱人材育成方針の策定	-	△	△				★新規事業
		⑲積極的な情報発信	0.4	○	○				
		⑳公共施設への冷水器設置	2	○	○				
5 サービスの向上と経営の安定に努めます。	3 人材育成	㉑小学4年生対象パンフレットの充実	0.4	○	○				◆拡充事業
		㉒旧武部配水池環境整備事業(仮称)	25	○	◎				★新規事業
		㉓中期経営計画の実施	-	○	○				

◎ 実施完了 ○ 実施中 △ 検討等を行った × 実施できなかった - 該当なし

◎	0件	3件				
○	17件	16件				
△	3件	2件				
×	0件	0件				
-	3件	2件				

## 事業計画の進捗状況について(水道事業)

### 1 安定的な水源を確保し、安全でおいしい水を供給します。

#### (1)水道水源の確保

事業	内容	計画目標	進捗状況
①新規水源の開発	新規水源を開発し、水源余裕率の向上を図ります。	H28 事業費 1億1,000万円 H32水源余裕率 40.0%	○実施中 H28 9,200万円(鬼橋第2水源) (翌年度繰越工事を含む) H28水源余裕率37.2%  H29 500万円(鬼橋第2水源) H29水源余裕率36.3%
②少雨対策への取組	渇水連絡協議会等を通じて少雨対策に取り組めます。	H28～H32	○実施中 H28 郡川水系渇水連絡会議を長崎県と関係機関で実施した。  H29 郡川水系渇水連絡会議を長崎県と関係機関で実施した。その後、菅瀬ダムの貯水率が50%を下回ったため取水量30%制限を行った。

#### (2)水道水源の水質管理

事業	内容	計画目標	進捗状況
③水質検査機器の更新	水質検査機器の適正な更新を行います。	H28～H32 事業費 2,300万円	○実施中 H28 900万円 (更新機器) 処理水有試薬残留塩素計 他  H29 80万円 (更新機器) PH計 他

### 2 適正な施設更新や危機管理により、安定した水の供給に努めます。

#### (1)計画的な施設更新

事業	内容	計画目標	進捗状況
④管路の計画的更新	大村市水道事業管路更新計画(H28～H32)に基づき、年間6kmを基本として管路更新を行います。	H28～H32 管路更新 30.0km 事業費 15億2,900万円	○実施中 H28 6.12km 3億600万円 24路線 (翌年度繰越工事を含む)  H29 5.92km 3億2,500万円 19路線
⑤設備の計画的更新	早急に更新が必要な設備の更新を行うとともに、アセットマネジメントの考え方を導入した更新計画を策定します。	H28～H32 事業費 10億1,600万円	○実施中 H28 3,800万円 水道施設アセットマネジメント導入基本計画 坂口浄水場NO.4ろ過池電動弁 他  H29 2億4,400万円 坂口浄水場中央監視設備 坂口浄水場NO.7ろ過池電動弁 他

(2)耐震化の推進

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑥管路の耐震化	管路の新設及び更新を行う際に、耐震管を採用し、耐震化率の向上を図ります。	H28～H32 管路耐震化率 H32 15.0%	○実施中 H28 管路総延長 L=534,310m 耐震管延長 L= 50,571m 耐震化率=9.5%  H29 管路総延長 L=537,481m 耐震管延長 L=60,151m 耐震化率=11.2%
⑦施設の耐震化 ★新規事業	施設の重要度及び緊急度を考慮した耐震化計画を策定します。	H31～32 事業費 2,500万円	該当なし H28、29 資料の収集及び整理
⑧上下水道局BCPの策定 ★新規事業	上下水道局BCPを策定するとともに、個別の危機管理マニュアルを策定します。	H28 計画の策定	△検討中 H29 研修に参加し、情報の収集を行った。

3 環境に配慮した事業運営に努めます。

(1)環境に配慮した設備の導入促進

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑨省電力機器の導入	省エネルギー対策機器を導入し、電力消費量の削減を図ります。	H28～H32	○実施中 H29 20万円 原動モーター取替
⑩小水力発電設備の設置 ★新規事業	坂口浄水場において、萱瀬ダムからの水道管路に小水力発電設備を設置し、再生可能エネルギーの導入を推進します。	H28～H29 事業費 1億1,900万円	◎実施完了 H28 導入に向けた基本方針の決定 <決定事項> ①導入方式:公設公営 ②入札方式:公募型プロポーザル方式 ③発注内容:実施設計、施工、 国及び電力会社等許認可 手続き1式  H29 9,900万円 小水力発電設備設置工事 【事業概要】 総事業費・・・1億1,300万円 (※維持管理費等を含む) 売電期間・・・20年間(H30. 4～H50. 3) 「固定価格買取制度(FIT)活用」 売電計画・・・全量売電 設備内容・・・小水力発電設備の新設 通常出力:32.9kw 最大出力:49kw 年間発電量:約27.4万kwh 売電価格・・・34円/kwh(税抜) 売電収入額・・・900万円/年 発電開始・・・平成30年4月2日 CO2削減量・・・約132t/年 収益額・・・7億2,400万円(20年間)

#### 4 適正な業務運営と維持管理に努めます。

##### (1)適正な業務運営

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑪最適運営形態の検討	最適な運営形態のあり方について検討し、組織の見直しを行います。	H28～H32	○実施中 H28 効率的な運営を行うため、水道工務課内の給水グループと維持グループを統合した。  H29 次期料金業務委託の業務内容の検討を行った。
⑫収納率の向上	大村市債権管理条例に基づき、適正な債権管理を行い収納率の向上を図ります。	H28～H32 H32収納率 99.3%	○実施中 H28 収納率 99.3% H29 収納率 99.3%

##### (2)適正な維持管理

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑬水源の休止	水需要予測や費用対効果を勘案し、取水能力が低下した水源や小規模で効率が悪い水源を休止します。	H28～H29	◎実施完了 H28 削減額 △300万円 小路口水源・鬼橋水源・日岳水源  H29 削減額 △60万円 富の原第1水源・富の原第3水源
⑭地下水源の適正管理	取水能力回復のための改修工事について適正な維持管理を行います。	H28～H32 10か所⇒5か所に変更	○実施中 H28 削減額 △400万円 福重水源の改修 内部カメラ調査、揚水試験、洗浄  H29 削減額 △300万円 杭出津第3水源のリフレッシュ工事 内部カメラ調査、揚水試験、洗浄
⑮送水ポンプ所の廃止	配水エリアの見直しを行い、送水ポンプ所を廃止し、効率的な配水を行います。	H29	該当なし H29 廃止予定の須田ノ木送水ポンプ所は断水時に木場配水池へ補水する補助施設となっており、今後緊急時の対応施設として検討を要する。
⑯簡易水道の統合による維持管理費の削減	簡易水道事業と水道事業との統合による業務の見直しにより人員削減を行うなど、維持管理費を削減します。	H29～H32 8,200万円	○実施中 H29 簡易水道事業と水道事業との統合により、職員を1名削減 給与費削減額 △800万円 久良原水源廃止等 △1,000万円
⑰漏水調査及び修繕の実施	漏水危険度の高いエリアから効率的に漏水調査を行い、水道管路の修繕及び管路更新計画へ反映します。	H28～H32 事業費 2億3,700万円	○実施中 H28 【漏水調査】900万円 管路調査 L=44km 戸別音聴調査 N=25,996戸  【配水管等修繕工事】3,500万円 修繕件数 N=278か所 送水管塗装 N= 1か所  H29 【漏水調査】900万円 管路調査 L=55km 戸別音聴調査 N=26,565戸  【配水管等修繕工事】3,800万円 修繕件数 N=319か所 配水管塗装 N= 2か所



## (3)人材育成

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑩人材育成方針の策定 <b>★新規事業</b>	職員の経営能力及びトータル的な技術力を向上させるため、上下水道局独自の人材育成方針を策定します。	H28	△検討中 H29 人材育成方針(案)を作成した。

## 5 サービスの向上と経営の安定に努めます。

## (1)お客様のニーズに合ったサービスの充実

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑱積極的な情報発信	市民の皆様の関心が高い情報について、積極的な情報発信を行います。	H28～H32 40万円 HP更新:年4回 広報誌掲載:年4回	○実施中 H28～H29 HP更新:年4回 広報誌掲載:年4回(H29:年5回)
⑳公共施設への冷水器設置	安心して飲める水道水をPRするために、公共施設に冷水器を設置します。	H28～H29 10台	○実施中 H28 60万円(2台) 市営野球場、市営テニスコート  H29 30万円(2台) 坂口浄水場、武部配水池※ ※構内整備工事にて冷水器を設置
㉑小学4年生対象パンフレットの充実	小学4年生を対象としたパンフレットを見直し、水に関する関心を高めま	H28～H32 40万円 1,200冊/年	○実施中 H28 内容を見直し5か年分を作成し、市内小学校へ配布 H28 1,055冊/年 H29 1,186冊/年
㉒旧武部配水池環境整備事業(仮称) <b>★新規事業</b>	水道事業の歴史を伝える大切な建造物として、子どもたちや地域住民が活用できるよう環境の整備を行います。	H28～H29 2,500万円	◎実施完了 H28 140万円(現地調査業務) 次年度実施工事に向けた、現地測量等確認調査を実施し、検討委員会を設け、整備方針など基本計画を策定した。  H29 1,800万円 武部配水池構内整備工事、武部配水池構内整備工事に伴う重点施工監理業務委託構内整備工事・・・1式 ①配水池本体の保存整備 ②配水池内の施設見学設備の整備 ③公衆トイレの設置 ④憩いの広場の整備 ⑤冷水器の設置(水道水PR等) ※平成30年4月:施設開設

## (2)経営基盤の強化

事業	内容	計画目標	進捗状況
㉓中期経営計画の実施	中期経営計画を確実に実施し、その効果を検証するとともに、結果を市民の皆様に公表していきます。	H28～H32	○実施中 H28 進捗状況の確認を行った。  H29 H28進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。

## 水道事業中期経営計画財政収支状況

### ①収益的収支(税抜き)

(単位:千円)

区分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収益合計 A	(1,965,648) 1,951,243	0.7%	(2,163,874) 2,065,151	4.8%	(2,170,636) 2,060,009	2,067,576	2,063,179
給水収益	(1,838,217) 1,822,153	0.9%	(1,923,279) 1,881,679	2.2%	(1,932,950) 1,874,349	1,879,236	1,873,738
長期前受金戻入	(92,343) 87,768	5.2%	(134,892) 88,922	51.7%	(138,221) 94,891	101,112	105,489
その他	(35,088) 41,322	△ 15.1%	(105,703) 94,550	11.8%	(99,465) 90,769	87,228	83,952
費用合計 B	(1,628,318) 1,682,527	△ 3.2%	(1,814,728) 1,884,637	△ 3.7%	(1,984,421) 1,864,026	1,855,413	1,733,036
維持管理費	(657,656) 709,502	△ 7.3%	(722,291) 802,235	△ 10.0%	(818,214) 790,565	786,106	780,172
職員給与費	(228,193) 219,607	3.9%	(224,813) 229,168	△ 1.9%	(224,663) 229,172	229,175	229,179
修繕費等	(262,466) 293,928	△ 10.7%	(311,649) 363,187	△ 14.2%	(375,382) 351,513	347,050	341,112
その他経費	(166,997) 195,967	△ 14.8%	(185,829) 209,880	△ 11.5%	(218,169) 209,880	209,881	209,881
支払利息	(218,050) 221,393	△ 1.5%	(231,191) 246,025	△ 6.0%	(217,696) 234,455	221,420	207,837
減価償却費	(731,477) 739,925	△ 1.1%	(839,207) 824,670	1.8%	(847,597) 827,299	836,180	733,320
その他	(21,135) 11,707	80.5%	(22,039) 11,707	88.3%	(100,914) 11,707	11,707	11,707
純損益(△損失)	(337,330) 268,716	25.5%	(349,146) 180,514	93.4%	(186,215) 195,983	212,163	330,143

### ②資本的収支(税込み)

区 分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	平成31年度	平成32年度
資本的収入 C	(405,337) 574,387	△ 29.4%	(535,814) 706,113	△ 24.1%	(669,123) 614,571	529,380	461,957
企業債	(260,700) 325,200	△ 19.8%	(349,100) 455,600	△ 23.4%	(410,100) 353,200	326,900	262,500
負担金	(30,631) 137,022	△ 77.6%	(7,642) 39,028	△ 80.4%	(100,309) 57,622	5,216	3,500
補助金	(70,103) 70,104	0.0%	(120,152) 169,647	△ 29.2%	(113,604) 162,299	156,080	155,075
加入金	(42,725) 40,880	4.5%	(57,964) 40,880	41.8%	(44,539) 40,880	40,880	40,880
その他	(1,178) 1,181	△ 0.3%	(956) 958	△ 0.2%	(571) 570	304	2
資本的支出 D	(1,246,500) 1,544,176	△ 19.3%	(1,548,162) 1,781,060	△ 13.1%	(2,097,375) 1,599,451	1,506,171	1,388,372
建設改良費	(544,246) 841,920	△ 35.4%	(742,591) 976,279	△ 23.9%	(1,277,163) 790,097	684,924	550,941
元金償還金	(702,254) 702,256	0.0%	(805,571) 804,781	0.1%	(820,212) 809,354	821,247	837,431
不足額 (C-D)	(△ 841,163) △ 969,789	△ 13.3%	(△ 1,012,348) △ 1,074,947	△ 5.8%	(△ 1,428,252) △ 984,880	△ 976,791	△ 926,415
補填財源残高	(912,915) 609,080	49.9%	(1,007,626) 505,415	99.4%	(415,346) 489,213	495,875	554,455
企業債残高	(10,228,615) 10,360,613	△ 1.3%	(11,455,759) 11,804,816	△ 3.0%	(10,712,948) 11,348,662	10,854,316	10,279,385

※( )書きの平成28・29年度は決算値、平成30年度は当初予算値、下段は中期経営計画値  
 ※資本的収支において、実績額には前年度からの繰越額は含めていないが、翌年度繰越額は含めている。

## Ⅱ 下水道事業

下水道事業中期経営計画 事業進捗状況

施策の方向性・重点施策・事業計画一覧

◎ 実施完了 ○ 実施中 △ 検討等を行った × 実施できなかった ー 該当なし

施策の方向性 (基本目標)	重点施策	事業計画	事業費(百万円) (5か年)	進捗状況					備考
				H28	H29	H30	H31	H32	
1 快適な生活環境の保 全に努めます	1 生活排水対策の推進	①未整備区域の下水道整備促進	1,219	○	○				
		②水洗化の促進	-	○					
2 下水道施設の長寿命化	2 下水道施設の長寿命化	③長寿命化計画の策定	50	-	◎				★新規事業
		④設備の計画的更新	1,271	○	○				
2 浸水対策の推 進	2 下水道の耐震化	⑤雨水管路の整備促進	1,853	○	○				
		⑥上下水道局BCP(事業継続計画)の策定	-	△	△				★新規事業
3 災害に強い都市基礎 の整備に努めます	1 下水道資源の有効活用	⑦資源・エネルギーの利活用についての調査研究	-	○	○				
		⑧高度処理施設の導入	1,933	○	○				★新規事業
3 環境に配慮した事業 運営に努めます	2 自然環境に配慮した施 設・設備の推進	⑨水質浄化・保全基金の調査・研究	-	△	◎				★新規事業
		⑩最適運営形態の検討	-	○	○				
4 適正な業務運営と維 持管理に努めます	1 適正な業務運営	⑪収納率の向上	-	○	○				
		⑫下水道台帳管理システム活用による維持管理の効率化	7.5	△	○				★新規事業
5 適正な業務運営と維 持管理に努めます	2 適正な維持管理	⑬不明水調査及び修繕の実施	200	○	○				◆拡充事業
		⑭人材育成方針の策定	-	△	△				★新規事業
5 お客様のニーズに合った サービスの充実 の安定に努めます	3 人材育成	⑮積極的な情報発信	0.4	○	○				
		⑯小学4年生対象パンフレットの充実	0.4	○	○				◆拡充事業
2 経営基盤の強化	2 経営基盤の強化	⑰中期経営計画の実施	-	○	○				

◎	0件	2件						
○	12件	13件						
△	4件	2件						
×	0件	0件						
-	1件	0件						


## 事業計画の進捗状況について(下水道事業)

### 1 快適な生活環境の保全に努めます

#### (1)生活排水対策の推進

事業	内容	計画目標	進捗状況
①未整備区域の下水道整備促進	未普及地域で污水管渠の整備を進めます。	H28～H32 整備延長 14.5km 事業費 12億1,900万円 H32整備率 92.1%	○実施中 H28 4.0km 4億3,600万円 (翌年度繰越分決算値を含む) H28整備率89.7% H29 2.1km 2億800万円 (翌年度繰越工事を含む) H29整備率90.6%
②水洗化の促進	下水道の日に合わせてPR期間を設定し、未水洗化家屋への戸別訪問を行います。	H28～H32 H32水洗化率 97.8%	○実施中 H28 マンホールカードを作成 H28～H29 下水道PR事業を実施 H28水洗化率97.3% H29水洗化率97.5%

#### (2)下水道施設の長寿命化


事業	内容	計画目標	進捗状況
③長寿命化計画の策定 	ストックマネジメント手法を用いた長寿命化計画を策定します。	H29～H30 事業費 5,000万円	◎実施完了 H30 スtockマネジメント計画策定 3,000万円
④設備の計画的更新	長寿命化計画に基づき改築更新を行います。	H28～H32 処理場 8億4,300万円 ポンプ場 4億2,800万円	○実施中 H28 大村ポンプ場改築 2億3,300万円 (翌年度繰越分決算値を含む) H29 東浦汚水中継ポンプ場改築実施設計 500万円

### 2 災害に強い都市基盤の整備に努めます。

#### (1)浸水対策の推進

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑤雨水管路の整備促進	浸水リスクが高いところを優先して雨水管路の整備を進めます。	H28～H32 整備延長 12.8km 事業費 18億5,300万円 H32整備率 58.6%	○実施中 H28 0.5km 1億300万円 (翌年度繰越分決算値を含む) H28整備率55.9% H29 0.6km 1億7,500万円 (翌年度繰越工事を含む) H29整備率56.2%

#### (2)下水道の耐震化



事業	内容	計画目標	進捗状況
⑥上下水道局BCP(業務継続計画)の策定 	上下水道局BCPを策定するとともに、個別の危機管理マニュアルを策定します。	H28 計画の策定	△検討中 H29 研修に参加し情報の収集を行った。

### 3 環境に配慮した事業運営に努めます。

#### (1) 下水道資源の有効活用

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑦資源・エネルギーの利活用についての調査研究	下水汚泥や下水熱などの資源やエネルギーの利活用について、引き続き調査・研究をします。	H28～H32	○実施中 H28 県が主催する汚泥処理に関する勉強会に参加し、県内自治体との情報交換を行った。 H29 汚泥処分業者が製造している下水汚泥再生肥料を、浄水管理センターで販売することで下水汚泥の利活用をPRした。

#### (2) 自然環境に配慮した施設・設備の推進

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑧高度処理施設の導入 	大村湾流総計画に基づき、高度処理施設を増設します。	H28～H32 事業費 19億3,300万円 高度処理実施率 H32 26%	○実施中 H28 1億8,700万円 (翌年度繰越分決算値を含む) H29 5億900万円 (翌年度繰越工事を含む) H29高度処理実施率 0%
⑨水質浄化・保全基金の調査・研究 	水質浄化・保全に資するため、基金等の制度導入について、調査研究を行います。	H28～H32	◎実施完了 H29 水質浄化・保全へ取組として、水質の条件を満たす排水企業に対し、新たな使用料金を設定した。(H30.4施行)

### 4 適正な業務運営と維持管理に努めます。

#### (1) 適正な業務運営

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑩最適運営形態の検討	下水道事業における最適な運営形態のあり方について、引き続き検討し、個別委託や包括委託を進め、合わせて組織の見直しを行います。	H28～H32	○実施中 H28 給排水申請について、水道事業との業務連携の検討を行った。 H29 次期料金業務委託の業務内容の検討を行った。
⑪収納率の向上	適正な債権管理を行うことにより、引き続き収納率の向上を図ります。	H28～H32 H32収納率 99.4%	○実施中 H28収納率 98.9% H29収納率 99.2%

## (2)適正な維持管理

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑫下水道台帳管理システム活用による維持管理の効率化 <b>★新規事業</b>	下水道台帳管理システムを活用し、効率的な維持管理や施設更新を行います。また、閲覧システムによる窓口サービスの向上を図ります。	H28～H32 事業費 750万円 ※H27導入(5,670万円)	○実施中 H28～H29 閲覧システム運用中
⑬不明水調査及び修繕の実施 <b>◆拡充事業</b>	効率的に不明水調査を行い、調査結果を基に、発生箇所の止水や管更生工事等を実施します。	H28～H32 事業費 2億円  H32有収率 91%以上	○実施中 H28 3,300万円 有収率 88.0% H29 2,900万円 有収率 90.3%

## (3)人材育成

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑭人材育成方針の策定 <b>★新規事業</b>	上下水道局独自の人材育成方針を策定し、人材育成及び組織力強化を図ります。	H28	△検討中 H29 人材育成方針(案)を作成した。

## 5 サービスの向上と経営の安定に努めます。

## (1)お客様のニーズに合ったサービスの充実

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑮積極的な情報発信	積極的な情報発信を行い、市民の皆様から信頼される下水道事業を目指します。	H28～H32 事業費 40万円  HP更新:年4回 広報誌掲載:年4回	○実施中 H28～H29 HP更新:年4回 広報誌掲載:年4回(H29:年5回)
⑯小学4年生対象パンフレットの充実 <b>◆拡充事業</b>	小学4年生を対象とした水の循環に関するパンフレットを見直し、教育委員会と連携を図りながら水に関する関心を高めま	H28～H32 事業費 40万円 1,200冊/年	○実施中 H28 内容を見直し5か年分を作成し、市内小学校へ配布 H28 1,055冊/年 H29 1,186冊/年

## (2)経営基盤の強化

事業	内容	計画目標	進捗状況
⑰中期経営計画の実施	中期経営計画を確実に実施し、その効果を検証するとともに、結果を市民の皆様公表していきます。	H28～H32	○実施中 H28 進捗状況の確認を行った。  H29 H28進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。 中期経営計画の一部見直しを行った。

## 下水道事業中期経営計画財政収支状況

### ①収益的収支(税抜き)

(単位:千円)

区分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収益合計 A	(3,089,695) 3,159,848	△ 2.2%	(3,150,831) 3,109,201	1.3%	(2,876,636) 2,876,636	2,833,032	2,822,175
使用料収入	(1,839,197) 1,891,463	△ 2.8%	(1,881,917) 1,893,804	△ 0.6%	(1,675,934) 1,675,934	1,639,536	1,633,596
雨水処理負担金	(149,252) 284,768	△ 47.6%	(148,163) 278,906	△ 46.9%	(155,419) 155,419	150,086	148,124
他会計補助金	(448,989) 318,474	41.0%	(438,414) 307,171	42.7%	(416,952) 416,952	399,555	389,818
長期前受金戻入	(616,118) 641,914	△ 4.0%	(650,380) 606,311	7.3%	(603,409) 603,409	621,093	627,874
その他	(36,139) 23,229	55.6%	(31,957) 23,009	38.9%	(24,922) 24,922	22,762	22,763
費用合計 B	(2,452,176) 2,523,915	△ 2.8%	(2,450,198) 2,525,682	△ 3.0%	(2,489,159) 2,489,159	2,474,553	2,478,058
維持管理費	(656,081) 756,499	△ 13.3%	(699,702) 806,722	△ 13.3%	(814,469) 814,469	791,185	797,754
職員給与費	(155,617) 168,148	△ 7.5%	(154,620) 168,136	△ 8.0%	(168,690) 168,690	171,538	174,452
修繕費等	(498,489) 586,126	△ 15.0%	(542,629) 635,894	△ 14.7%	(642,659) 642,659	615,720	619,307
その他経費	(1,975) 2,225	△ 11.2%	(2,453) 2,692	△ 8.9%	(3,120) 3,120	3,927	3,995
支払利息	(328,192) 337,080	△ 2.6%	(297,641) 315,442	△ 5.6%	(279,032) 279,032	268,287	251,624
減価償却費	(1,380,658) 1,377,970	0.2%	(1,360,411) 1,361,988	△ 0.1%	(1,365,508) 1,365,508	1,374,265	1,387,864
資産減耗費	(85,523) 41,519	106.0%	(91,579) 30,000	205.3%	(19,319) 19,319	30,000	30,000
特別損失	(1,722) 10,847	△ 84.1%	(865) 11,530	△ 92.5%	(10,831) 10,831	10,816	10,816
純損益(△損失)	(637,519) 635,933	0.2%	(700,633) 583,519	20.1%	(387,477) 387,477	358,479	344,117

### ②資本的収支(税込み)

区分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	平成31年度	平成32年度
資本的収入 C	(1,164,702) 1,389,884	△ 16.2%	(1,085,478) 1,939,804	△ 44.0%	(1,617,936) 1,617,936	1,227,702	1,159,984
企業債	(568,100) 704,001	△ 19.3%	(482,100) 925,000	△ 47.9%	(803,713) 803,713	635,000	602,500
受益者負担金	(15,389) 16,337	△ 5.8%	(11,371) 13,829	△ 17.8%	(19,175) 19,175	10,995	9,743
他会計補助金	(125,454) 120,453	4.2%	(121,711) 122,212	△ 0.4%	(116,526) 116,526	122,220	117,854
国県交付金	(429,950) 482,850	△ 11.0%	(414,700) 812,520	△ 49.0%	(576,695) 576,695	434,485	404,885
その他	(25,809) 66,243	△ 61.0%	(55,596) 66,243	△ 16.1%	(101,827) 101,827	25,002	25,002
資本的支出 D	(2,485,318) 2,705,878	△ 8.2%	(2,517,099) 3,317,910	△ 24.1%	(3,154,862) 3,154,862	2,359,489	2,248,903
建設改良費	(1,092,465) 1,314,292	△ 16.9%	(1,128,039) 1,929,393	△ 41.5%	(1,927,063) 1,927,063	1,164,366	1,105,573
元金償還金	(1,392,853) 1,391,586	0.1%	(1,389,060) 1,388,517	0.0%	(1,227,799) 1,227,799	1,195,123	1,143,330
不足額 (C-D)	(△ 1,320,616) △ 1,315,994	0.4%	(△ 1,431,621) △ 1,378,106	3.9%	(△ 1,536,926) △ 1,536,926	△ 1,131,787	△ 1,088,919
補填財源残高	(1,760,628) 1,556,216	13.1%	(1,921,556) 1,640,912	17.1%	(1,448,361) 1,448,361	1,515,623	1,615,777
企業債残高	(14,809,835) 15,322,901	△ 3.3%	(14,057,976) 14,859,384	△ 5.4%	(13,771,798) 13,973,277	13,413,154	12,872,323

※( )書きの平成29年度までは決算値、平成30年度は当初予算値、下段は中期経営計画値  
 ※資本的収支において、実績額には前年度からの繰越額は含めていないが、翌年度繰越額は含めている。